

「別マBABY」に読みきり掲載!

別マまんがスクール発表

666回の総評

例えば「前言撤回」。現実ではほぼ使わないけど、まんがではたまに見るフレーズですよね。元ネタがまんがの言葉を多用しすぎると、作品が舌ひいていく原因に。せっかく青春学園モノなら、今のリアルな言葉遣いも入れてみては？

「ツツジに嵐は訪れて」
蟻塚いぬ

第662回まんがスクールデビュー

*** 賞金 30万円 ***

デビュー賞

「なんでやねん！」

愛知県 月茂陽生(22)
前回 新人まんがCP期待賞



「あらずじ」…文化祭の漫才コンテストに出場することになった理奈と大和。ふたりは幼なじみで息ピッタリだけど、理奈には不満が……!?

「絵」…教室の中で、ふたりきりで漫才をするという本来絵変わりのないシチュエーションを、男女とも様々な表情やアングルで描くことで楽しく見せており、画面構成やデッサンの基礎力の高さが感じられます。しかしヒロイン、ヒーローとも絵柄が垢抜けないのは要改善です。男子は下まつ毛を控えめに。また、女子の瞳の処理は古い印象を受けるので、ハイライトを角ばらせてみてください。一気に今っぽさが出せるはず!

特別審査員

アヒハラ天才達の

アオリ、俯瞰の絵や動きのある全身の絵などに違和感が全然なくて、デッサンが上手! と思いました。男子の子の横顔が特に色っぽくてカッコいいです! アップになると髪の毛の塊感が強く重たく見えるので、細い手を意識して上げると今っぽいのかな? と思います。ポニテで攻撃するところ可愛くて面白かったです。お話全体のフリとオチが効いていて、作品のテーマに合っていて最高でした!

鼻の影の付け方も古い印象なので、現在の人気作の仕上げを研究してみましよう。この作品の一番の見



理奈

俺ずっと前から理奈のこと…

トーン処理でやや画面が重い! 片方を白髪にするのも一案。

デビュー者受賞の
ことば

月茂陽生さん

とても嬉しいです。今もまだ胸がドキドキしています。まんがが家として一歩踏み出せたのかなと思うので、これからもっと先へ進んでいけるように、努力していきます。



夫婦漫才というテーマを綺麗に回収したオチで切れ味◎!

大の評価ポイントです。演技なのか本気なのかわからないヒーローの告白に振り回される主人公は微笑ましかつたです。主人公の気持ちを諷刺上げるようなモノローグが入ってくると、より読者を感情移入させられるはず。ここぞというシーンではギャグのノリを封印して主人公の心の動きを描いてみましょう。逆にドキッとするシーンでは、セリフもモノローグもなしの、時間が止まったかのような演出をするのも手。描いている方は恥ずかしくて死ぬ、くらいのテンションでやって初めて読者はキーンとしてくれますよ!

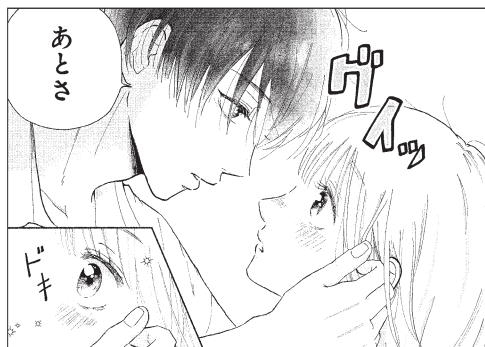
期待賞
賞金 8万円

「きみの笑顔がみたい」
神奈川県 佐紀友恵(24)
前回 チャレンジ賞



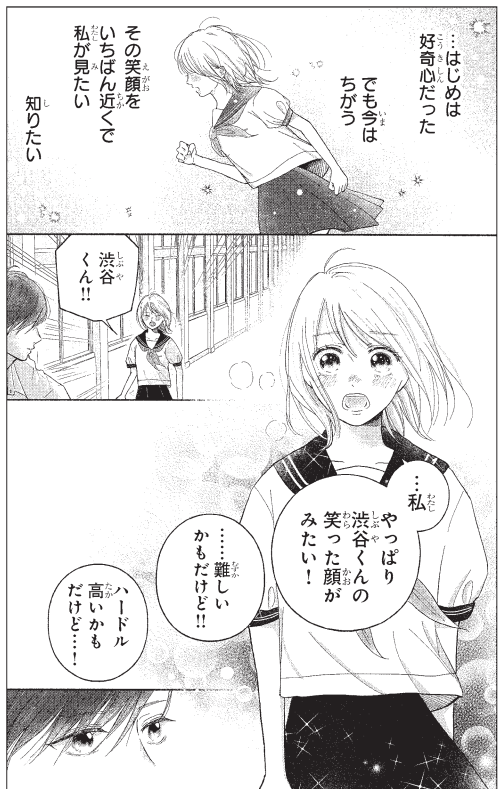
「あらずじ」
なごみは笑わない男・渋谷くんの笑顔が見たくて、あらゆる行動に出るも失敗続き。そのうち渋谷くんの意外なやさしさに気づき!?

「絵とコマ割り」…男子の顔はプロと遜色ないくらい美しいです。とても繊細に描かれた髪の毛が色気を生んでおり、細部まで丁寧に処理をする大切さが伝わってきます。一方、身体のデッサンはまだまだですね。立った時、座っている時ともに背筋が妙に伸びており、身体の硬さが目立っています。まずは自撮りのトレーズで良いので、身体の重心や服のシワなど、実物を参照しながら描く訓練をしてみましょう。カメラの寄り・引きに



不意打ちの接近戦はきゅん度高い! 「驚き」って大事です。

メリハリがないページがチラホラあるのも気になりました。
「キャラとストーリー」…主人公が



3コマ目のような自然で可愛い口調がこの子の良さですね!

元気で行動派かつ、冒頭から「渋谷くんのことを笑わせたい」という目的が明確に伝わってくるので、とても読みやすかったです。その分、後半、ヒーローの照れ顔を見てからの主人公のモノローグが急に堅苦しくシリアスになってしまったのはキャラが一貫しないようで残念でした。「照れ顔…えぐいんですけど…」くらい砕けた言葉遣いでも、ドキドキする表情を真に迫って描ければ心情は伝わります。作者都合のモノローグでなく、そのキャラらしい自然な言葉遣いを心がけてみてください!



「大人っぽ後輩」

静岡県 山崎みほ (24)

前回 Aクラス



「あらずじ」… 年下の志摩は、いつも私のことをからかってばかり。でも卒業前に志摩の本当の気持ちが知りたくて……

「絵と「マ割」」… デッサン力が発展途上のため、コマごとにキャラデザが違って見えてしまつのが惜しいものの、挑戦的なアングルやポーズが沢山使われており、絵で勝負する、という意気込みが強く感じられました。実力より背伸びした構図にチャレンジする人は伸びますよ！ デッサンの



男子の余裕ぶりを強調するからこそ最後の照れ顔が光る！

他には、読みやすい画面にするために、枠線をもう少し太くし、コマ間の余白の大きさを揃えてみましょう。また、場面転換の際には引きの背景を挟まないで、読者に移動したことが伝わりづらいです。

「キャラとストーリー」…冒頭のシーンから、主人公とヒロローの関係性がハッキリ伝わってきて、余裕たっぷりな年下イケメンに攻められまくる、という楽しみどころがハッキリしているのが素晴らしいです。主人公、兄、兄の後輩、ヒロローと人間関係が複雑なので減らせる情報がないか要検討です。

「言って」

千葉県 西田 (21)

前回 期待賞



けれど、相変わらず彼は友達ノリで……!?

「あらずじ」…

好きだった同級生と高校で再会した結衣、可愛くなったと言われたり

「絵と「マ割」」…服のシワや学ランの襟の開き具合など、丁寧に描けているのが好印象でした。キャラの顔は一昔前の少年まんがのような趣があります。頬骨が特徴的な輪郭線がやや悪目立ちしてしまつのと、パーツも少女まんがにしてはシンプルです。例えば口の下にトーンを貼ったりして顔の凹凸を表現すると絵柄に華やかさが出てくるはず。また男子の目が丸いので子供っぽさが強調されていました。切れ長のデザインにする

と色気を表現できます。



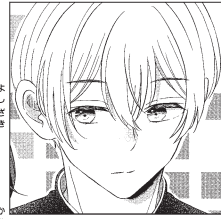
右のコマは意図なく傾けすぎている印象を受けます…!

「キャラとストーリー」…冒頭、テノポのよい状況説明が◎でした。ヒロローの「男の子っぽさ」は良くも悪くもリアルで、回りくどくない性格なのは伝わるのですが、今作ではデリカシーの無さや子供っぽさの方が前面に出てしまい、魅力を感じづらかったです。裏表がないからこそ、ストレートに褒めてくれたり、ドキッとさせてくれるようなシーンが入ると、読者も彼を好きになれるはず。定番のイケメンではなく主人公(作者)にとつてかっこいい男子を描く姿勢は良いので、彼の魅力をプレゼンするつもりでエピソード選択を!

「メイクミークールダウン」

石川県 暖月とあ(20)

前回 チャレンジ賞



「あらすじ」…暑い夏。いつも涼しげな顔をして、学ランを着こんでいる鈴谷が気になる吉崎さん。彼のひんやりした手に触れると気持ちよくて……?

「総評」…テンポよく雑談を重ねていくふたりが瑞々しく、ハンディファンを使った見せ場もオリジナリティが感じられて◎でした。ただ、ヒロインはまんがチックな口調や、仲良くもない男子の手を急に握るといった行動のため、変わった人として描かれています。かつヒーローも浮世離れた性格のため、読者は自分から遠いところでふたりがやりとりしている感覚になってしまいます。メインのどちらかを読者と同じ常識を持つキャラにする、もしくは女友達などをツッコミ役にして、読者と作中の世界の接点をつくりましょう。

「Onesummerday」

東京都 夏希英莉(31)

初投稿

「あらすじ」…悲しみに暮れる主人公の目の前に現れたのは、見知らぬ制服の男の子。彼がそこにいるのは……?

「総評」…今月の投稿作の中で最も高い画力、読みやすいコマ割り・ふきだしの配置の作品でした。見開きを使って美麗な背景を見せるページ作りも大胆で目を惹きます。しかし、ストーリーは難解



繊細で美しい背景が読者を挿みます!

で、置いてきぼりになってしまいました。エンタメ作品では、わかりやすさが何よりも大事です。加えて、次作を描く際には、ヒロインの行動が相手の男子を変えたり、新たな一面を引き出すようなストーリーにも挑戦してみてください!



顔の陰影や洋服の立体感をもっと意識しよう!

Aクラス 標準の力があります。センスを磨き入賞を目指そう。

- ◆ 甜瓜炭酸(2作品とも)
- ◆ 東ノ棘
- ◆ 甘恋ルナ
- ◆ 佳穂
- ◆ 月山十夜
- ◆ 叶音の恋心空
- ◆ しひ
- ◆ 浜山ゆず

Bクラス 絵も読も基礎力アップを目標に。

Cクラス マンガの基礎をもう一度チェック!

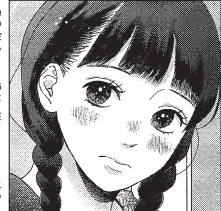
△絵も読も要改善!(名前は順不同)



「片思いが終わる日」

島根県 鳴海栞(31)

前回 チャレンジ賞

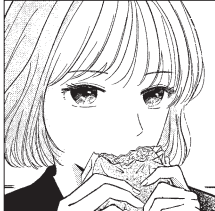


「総評」…冒頭、卒業式後にひとりきりという状況を絵で明快に説明できていて◎。一方、後出しで好意を伝える男子には魅力を感じづらかったです。

「ただ、それだけ。」

兵庫県 宇野たゆ(27)

初投稿



「総評」…感情表現が乏しいヒロインなら気持ちを簡単には汲み取ってくれない男子とペアに。主人公は頑張らなさいいけない状況に追い込もう!